

Osaka Metro まちさんぽ

鳴野駅

90分
コース

今里筋線 鳴野駅

しぎの
大阪城の東は鳴野村

旧大和川の低地は大坂冬の陣の激戦地

旧大和川(寝屋川)流域は古代の河内湖の名残をとどめる低平地で、浸水や洪水を繰り返し、大坂冬の陣は河川氾濫地での大激戦になりました。また、古代に京から水路をたどった菅原道真の足跡も残され、数々の伝説があふれています。



宝永元年(1704)の大和川の付け替え後、このあたりの低湿地で新田が開発され、水利を活かして稲作や木綿の栽培が盛んに行われました。戦後には大阪近郊の都市化が急速に進み、第二寝屋川や平野川分水路の治水整備も進んで住宅地が拡大されました。

スタート駅

今里筋線
鳴野駅
①号出口

1

古戦場跡碑
鳴野今福

2

八劔神社

3

大日寺

4

八坂神社

5

させん堂不動寺

6

諏訪神社

7

屋上農園
放出下水処理場

8

排水機場
平野川分水路

ゴール駅

今里筋線
鳴野駅

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

旧大和川の低地は大坂冬の陣の激戦地

旧大和川(寝屋川)流域は古代の河内湖の名残をとどめる低平地で、浸水や洪水を繰り返し、大坂冬の陣は河川氾濫地での大激戦になりました。また、古代に京から水路をたどった菅原道真の足跡も残され、数々の伝説があふれています。

スタート駅

約 90分

ゴール駅

今里筋線鳴野駅①号出口

今里筋線鳴野駅

1 鳴野・今福 古戦場跡碑

慶長19年(1614)の大坂冬の陣の激戦地です。旧大和川の南岸が鳴野村、北岸が今福村で、豊臣方は徳川軍の進撃をくい止めるために淀川の堤防を決壊させ、あたり一面が浸水したために戦闘は堤防上で繰り広げられました。鳴野では徳川軍の上杉景勝、豊臣軍の大野治長が激突して上杉軍が勝利しました。今福では両軍が一進一退のあとに豊臣軍が大坂城内に撤退しました。城東小学校校庭に大坂冬の陣の碑があります。



2 やつるぎ 八劔神社

室町時代の初め、鳴野村の何人もの村人たちが「吾は熱田の神なり。吾を淀川の川辺に迎うべし」と老翁が告げたという同じ夢をみました。村人たちが川辺に出てみると一匹の小蛇(白鳥説もあり)が現れて悠々と鳴野村へ村人を導きました。村人たちは畏敬して祠を建てたというのが神社の起源とされています。境内には、冬の陣で鳴野を占領した徳川方・上杉景勝の陣跡の碑があります。家康は兵を休ませようとして景勝に堀尾忠晴と交代を命じましたが、景勝は「手に入れた地を他者に譲ることはできない」と頑強に拒否したといわれています。



3 大日寺

平安時代の初め、弘法大師が鳴野村を訪れたときに難産で苦しむ女性のために子安大日如来を彫って安置しました。これが寺の創始で、現在でも「子安の大日さん」として信仰を集めています。境内には鎌倉時代のものでされる宝篋印塔があります。



4 八坂神社

天王田村の庄屋が近くを流れていた楠根川に光るものを見つけると、牛頭天王と墨書された木簡で、これを祀ったのがはじまりとされています。永く天王田村の氏神として信奉されてきました。頭の一部が欠けた狛犬があり、これに願いをかけると紛失したものが見つかるという伝えられています。境内には銀杏の大木の横に稲秀大明神が祀られています。



5 させん堂不動寺

菅原道真が太宰府に左遷されるときに、河内の伯母に別れを告げるためにこの地を訪れたといわれています。そこがのちに左専道村となって、現在でも公園に名をとどめています。ご本尊の不動明王は、秀吉の大坂城築城の際に城下から移され、江戸時代中期に現在地に遷座されました。以来、「どっこいそうはさせん堂のお不動さん」と人々に親しまれてきました。



6 諏訪神社

境内の石灯笼に承和3年(836)寄進とあり、平安時代初期には創建されていました。摂津に菅原道真が腰かけたという石が祀られている腰掛天満宮があり、石に触ると学業成就するといわれています。また、秀吉が小田原攻めで勝利したときに奉納した大獅子が獅子舞として伝わっています。神社前の道は放出街道(剣街道・中高野街道)で、摂津と河内の境界だとされています。



7 はなてん 放出下水処理場・屋上農園

放出下水処理場は昭和42年(1967)から通水し、微生物の働きで下水を浄化して平野川分水路に放流しています。発生した汚泥は送泥管で平野下水処理場へ送って炭化・溶融処理をしています。放出処理場で発生するガスは発電事業に有効利用され、また、エレベーターで屋上に上がると153区画の市民農園や芝生広場が設置されて、市民に開放されています。



8 平野川分水路排水機場

水門とポンプを使って第二寝屋川と平野川分水路の水位を調節して洪水を防ぐ施設です。この機能によって堤防や多くの橋のかさ上げが不要となるために、川沿いの土地利用への影響を少なくし、円滑な都市交通を保つのに役立っています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年9月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

